

マイナンバー情報総点検本部（第2回）議事概要

開催日時：令和5年8月8日（火）14:10～14:30

場所：総理大臣官邸2階大ホール

出席者：内閣総理大臣、デジタル大臣、総務大臣、厚生労働大臣ほか別紙のとおり

議事概要

1. 開会挨拶

河野デジタル大臣より開会挨拶。

2. マイナンバー情報総点検の中間報告・政策パッケージについて

河野デジタル大臣より、マイナンバー情報総点検の中間報告・政策パッケージについて説明。

3. マイナンバー情報総点検等に係る関係省庁の取組について

加藤厚生労働大臣及び松本総務大臣より、マイナンバー情報総点検等に係る関係省庁の取組について説明。

4. 岸田内閣総理大臣発言

マイナンバーについては、紐付け誤りの事案が相次いで確認され、国民の皆さんに不安を招いていることを重く受け止め、マイナンバー制度に対する国民の信頼回復に、政府を挙げて取り組む必要があります。

このため、本日取りまとめた政策パッケージに基づき、1つ目、マイナンバーの紐付け誤りに関する総点検、2つ目として再発防止対策、3つ目として国民の信頼回復に向けた対応、この3点を強力に推進してください。

各大臣においては、まず、総点検について、個別の機関の事情に配慮しながら、原則として11月末までに、個別データの点検を実施してください。その際、マイナンバー照会費用を無料とするなど、点検作業を行う自治体や保険者の負担に十分留意してください。また、点検の進捗状況について月に一回報告してください。

再発防止対策については、マイナンバー登録等に係る横断的な省令改正やガイドライン策定を、来月中をめどに行ってください。その上で、ヒューマンエラーを防ぐとともに、誤りを早期に発見するよう、総点検終了後の定期的な紐付け状況の確認と、マイナンバー登録事務のデジタル化に取り組んでください。

そして、総点検と再発防止を徹底した上で、国民に選ばれるマイナ保険証になるよう、マイナ保険証のスマホ搭載、電子処方箋の普及等のデジタル環境の整備を進めるとともに、より質の高い医療の推進、多剤投与や重複投薬・併用禁忌の防止等、マイナ保険証のメリットを実感いただける実効的な仕組みづくりを進め、デジタル社会の実現に向けた重点計画に反映してください。

コロナ対策で経験したデジタル敗戦を二度と繰り返さないために、デジタル化の歩みを止めてはなりません。デジタル社会における公的基盤であるマイナンバー制度に

対する信頼を回復し、デジタル化に際してデジタルとアナログを併用することなどの工夫を通じて、国民が安心してデジタル社会に移行できるよう、政府、自治体、関係機関が一丸となって全力を尽くしてください。

以上

(別紙)

マイナンバー情報総点検本部出席者名簿

令和5年8月8日(火)
14時10分～14時30分
総理大臣官邸2階大ホール

内閣総理大臣 岸田 文雄
デジタル大臣 河野 太郎
総務大臣 松本 剛明
厚生労働大臣 加藤 勝信

内閣官房副長官(事務) 栗生 俊一
内閣官房副長官補(内政) 藤井 健志
内閣広報官 四方 敬之
デジタル監 浅沼 尚
デジタル審議官 二宮 清治
デジタル庁統括官 富安 泰一郎
デジタル庁統括官 楠 正憲
デジタル庁統括官 村上 敬亮
総務事務次官 内藤 尚志
総務省自治行政局長 山野 謙
総務省自治税務局長 池田 達雄
総務省地方連携総括官 山越 伸子
厚生労働事務次官 大島 一博
厚生労働省大臣官房総括審議官 黒田 秀郎
厚生労働省健康局長 大坪 寛子
厚生労働省労働基準局長 鈴木 英二郎
厚生労働省職業安定局長 山田 雅彦
厚生労働省社会・援護局長 朝川 知昭
厚生労働省老健局長 間 隆一郎
厚生労働省保険局長 伊原 和人
厚生労働省年金局長 橋本 泰宏
厚生労働省人材開発統括官 岸本 武史
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長 辺見 聡
内閣府事務次官 田和 宏
こども家庭庁長官 渡辺 由美子
財務事務次官 茶谷 栄治
文部科学事務次官 藤原 章夫
農林水産事務次官 横山 紳
国土交通事務次官 和田 信貴